

2020 年度事業報告

2020 年 6 月に稲葉豊氏が会長に就任し、会長直轄の 4 つのタスクフォースが組成され、会員社の著作権等使用料の適切な徴収・分配や業務効率化等を目指して活発な活動がスタートした。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、ライブエンタメの関係団体である JAME、FMPJ、ACPC とともに、安全な環境下でのライブイベントの開催、公演事業者の事業継続による救済等の実現に邁進した。

また、JASRAC、RIAJ、FMPJ、NexTone、MPA の音楽関係 5 団体で運営するフィンガープリントプロジェクト連絡会では、2020 年度末までに約 320 万曲の邦楽曲をフィンガープリント化した。本プロジェクトは 2021 年 3 月をもって終了し、実証実験に参加したフィンガープリント事業者 3 社による本格的なサービスが揃って開始される予定である一方、対応が急がれる邦楽曲に係わるメタ情報の充実化への取組みを一層強化するとともに、未参加音楽団体等への啓蒙を強化し、国内外における音楽の使用実態を的確に把握して、時代の流れに即した著作権及び著作隣接権管理が実現するよう、引き続き、業界一丸となって取り組んでいく。

さらに、2020 年 6 月の通常国会で成立した著作権法の改正を受け、RIAJ、JAME、FMPJ や著作権等管理事業者を含む他の音楽関係団体と相互に協力し、引き続き、インターネット上の海賊版対策を強化し、著作権者・著作隣接権者の権利保護に邁進していく。

<主要事業>

I 著作権思想の普及振興に関する事業

音楽ビジネスに係る著作権法改正について、関係団体との協力・連携を一層強化し、著作権者・著作隣接権者の権利保護に邁進するとともに、権利者への適切な対価の還元が担保されるよう強く働きかけを行っていく。

II 音楽出版事業振興に関する事業

音楽著作権管理者養成講座をはじめ、会員社を対象にした勉強会や JASRAC の資料部・分配部による説明会を開催、いずれも多数の参加者を集めた。また、海外市場への展開として、TIMM において JMCE と共催でオンラインセミナーを開催した。

III 著作隣接権使用料等の受領及び分配に関する事業

RIAJ から著作隣接権等使用料を受領し、MPA 会員社へ再分配を行った。また、RIAJ との間で貸与報酬の分配に関して継続的に協議を行ってきた結果、2020 年度に徴収される貸レコード使用料から、新ルールでの分配が行われることとなった。

IV 音楽出版事業に関する調査、研究及び資料の収集

会員各社に日常業務上の懸念点についてのアンケートを実施し、電子契約の推進、著作権等管理事業者との業務におけるオンライン化、デジタル化の導入等を中心として、会員各社の業務効率化について検討した。

V 音楽の著作物の創作活動に対する助成及び顕彰

JASRAC、NexTone それぞれの著作権等管理事業者ごとに「スタンダード・ソング賞」、「ヒット・ソング賞」の楽曲を選定、「MPA 賞」を贈賞した。

VI 国内及び国外の著作権等関係団体との協力

音楽団体連携タスクフォースを設置し、長期化するコロナ禍において、事業機会の減少により深刻な状況に陥っているエンタテインメントビジネスの存続に向けて、JAME・FMPJ・ACPC とともに、喫緊の課題について政府当局、関係省庁と協議を行った。国外では、ICMP に参加し、音楽出版の国際動向について情報交換を行い、著作権保護の推進を図った。

VII 音楽出版事業に関する契約書式並びに機関紙その他刊行物の発行及び電子的方法による公表

MPA 契約書等を発行、頒布した。当協会及び音楽出版社の業務を PR するためのパンフレット「MPA GUIDE」を一部改訂したほか、不正アクセス防止のため、ホームページのセキュリティ強化を図った。

VIII 会員の福祉に関する事業

新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度は、各種競技会、親睦会の開催を見送った。

IX その他この法人の目的を達成するために必要な事業

任期満了に伴う役員改選を行い、理事 19 名、監事 3 名が選任された。また、役員改選に伴い、タスクフォースの新設等、組織の改編を行った。